

評価結果を活用した総合相談窓口
(ブランチ)のあり方について(案)

平成26年3月

大阪市 福祉局 高齢福祉課

評価結果を活用した総合相談窓口（ランチ）のあり方について（案）

平成 25 年度より、高齢者人口の増加にともない増え続けている認知症高齢者等の早期発見・早期支援の充実に向け、地域包括支援センターと協力して高齢者やその家族の相談業務を担っている総合相談窓口（ランチ）の職員数を、現行の 0.5 人相当から 1 人に拡充することにより高齢者の在宅生活の充実を図ってきたところである。

今後、この総合相談窓口（ランチ）の機能強化の効果について「評価のしくみ」を活用して検証し、ランチ体制のあり方を検討していきたい。

